

改正貸金業法を早期に完全実施して自治体での多重債務相談体制の整備のため、相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること、ヤミ金融を徹底的に摘発することを要請したものです。



◆意見書第三号

季節労働者の失業給付を九十日分にし、国の季節労働者対策の強化を求める意見書

季節労働者が冬に失業するのは労働者の責任ではありません。北海道において、急速に悪化した経済のもとで民間工事が落ち込み失業が季節労働者におそいかかっています。雇用保険法を改正して失業給付を九十日分とすることを要望するものです。

委員会報告

産業建設委員

◆調査事項

新規就農の支援について
調査日時

平成二十二年一月十九日
平成二十二年二月十五日
◆調査結果

及び委員会の所見

今回の条例改正にあたり、新規就農者範囲の拡大が図られ、新たに農業法人構成員としての就農も対象とし、経営継承型への助成も新設されたことである。さらには、受け入れ農業者の事前登録制、審査制の導入など、新規就農者がより充実した研修が受けられるよう改善が図られた。

これまで、助成金・奨励金措置はなかったが、めまぐるしく社会情勢が変化するなかで、十年以上の経営継続を条件とし助成金・奨励金の免除措置が設定された。これらの幅広い支援に

よって新たに農業に就農する人がひとりでも多く現れることを期待する。

残された課題としては、今回、検討はされていたが、離農後、経営継承が実現する間の固定資産税については、収入がない中での負担が大きいことから、納入猶予などの措置ができないかなど、引き続き検討をしていくべきである。

新規就農者は、酪農業を持続的に発展されるとともに、地域コミュニティにとっては新しい刺激として重要な存在であり、今後、酪農のみならず、様々な農業形態に対応できる就農支援の充実を進めるべきである。

◎平成二十一年度 陳情第五号

総務委員会審査事項

平成二十一年十二月定例会において本委員会に付託されました、陳情第五号、「次期選挙までに標茶町議

会議員の定数を十二名以内に削減を求める陳情」について

審査日

平成二十一年十二月九日

平成二十二年 二月八日

平成二十二年二月十七日

審査の経過と結果

本委員会は、三回にわた

り委員会を開催し、慎重に

審査を行った結果、意見を

付し全会一致で不採択とす

べきものと決定した。

付帯意見

本陳情については、陳情

者を招致し陳情趣旨の説明

を聞くなど陳情者の意見も

十分尊重し、三回にわたり

慎重に審査を行った。

議員定数については、昨

年から議会としても取り組

んでおり、現在も協議中

であること、また、その内容

は、本陳情の十二名以内に

削減するという数字にとら

われるものではないので、

この陳情については不採択

とした。

◎平成二十二年 陳情第一号

議会運営委員会審査

審査事項

標茶町議会先例「当分の

間委員会の非公開の原則は

守ることとする」の即時撤

廃を求める陳情

陳情審査結果

本委員会は、陳情内容を

審査した結果陳情の願意は

認められていることから、

みなし採択すべきものと決

定いたしました。

◎みなし採択とは

陳情等が提出された後に、同じ趣旨、同じ目的の議案等が議決された場合に、すでに同じ趣旨、同じ目的が達成されていることから、採択とみなして処理する取り扱いをいう。

議会日誌から

- 十二月十五日 広報調査特別委員会
- 十二月二十五日 釧路広域市町村圏事務組合
議会
- 十二月二十五日 釧路公立大学事務組合議会
- 一月七日 広報調査特別委員会
- 一月八日 広報調査特別委員会
- 一月十五日 広報調査特別委員会
- 一月十九日 産業建設委員会
- 一月二十日 広報調査特別委員会
- 一月二十五日 総務委員会
- 二月一日 厚生文教委員会
- 二月八日 総務委員会
- 二月十二日 議会運営委員会
- 二月十五日 第一回臨時会
- 二月十五日 産業建設委員会
- 二月十七日 総務委員会
- 二月十九日 川上郡衛生処理組合議会
- 二月二十六日 釧路北部消防事務組合議会
- 三月二日 議会運営委員会
- 三月五日～十日 第一回定例会



うれしいな！笑顔の一年生

編集後記

「冬来たりなば春遠からじ」とはいえ、近年になく厳しく寒い時期が続きました。自然界にはまもなく春への息吹が感じられる季節となりましたが、気候の変わり目、町民みなさまのご健勝を願うところです。

二十二年度の方針と予算を決めるべき三月定例議会が五日開催されました。一般質問五名、十四件、総括質疑九名、二十九件と補正予算・条例一部改正等・意見書採択四件とその内容につきましてお知らせいたします。

政権交代が実現しましたが、不透明で混乱している現況の中で本町の一般会計当初予算は百五億六千六百万円計上され、前年比十一億八百万円の増額となり、五年振りの百億円を超える予算配分について新年度にふさわしい活発なる審議が行われました。

私ども広報委員五名、今年度も親しまれる、読みやすい紙面づくりに努力してまいります。『議会だより』につきまして皆さま方のご感想、ご意見をお聞かせください。

文責 平川 昌昭